

安達地方広域行政組合告示第19号

安達地方広域行政組合財政状況の作成及び公表に関する条例（昭和47年安達地方広域行政組合条例第19号）の規定に基づき、令和7年4月から令和7年9月までの財政状況及び前年度決算の概要について公表する。

令和7年12月1日

安達地方広域行政組合管理者 三保 恵一

安達地方広域行政組合財政状況

1 収入及び支出の概況

区 分	収 入	支 出
令和7年 4月	369,989,075円	617,714,995円
令和7年 5月	298,596,511円	224,243,613円
令和7年 6月	623,803,454円	622,937,729円
令和7年 7月	298,173,462円	262,821,146円
令和7年 8月	298,014,071円	172,135,150円
令和7年 9月	300,306,993円	651,738,249円

2 財産

(1) 期間中に取得した財産

① 公有財産

なし

② 物品（取得価格100万円以上のものを記載）

なし

③ 基金（積立額）

・財政調整基金	266,117円
・消防施設整備基金	250,000円
・廃棄物処理施設整備基金	30,000,000円

(2) 期間中に処分した財産

① 公有財産

なし

② 物品（更新に伴う処分を除く。）

なし

③ 基金（取り崩し額）

なし

3 組合債現在高（令和7年9日末日現在）

538,712,689円

4 一時借入金の現在高

0円

5 前年度決算の概況

(1) 総括

令和6年度一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額が3,987,113,828円、歳出決算額が3,697,812,249円で、差引残額は289,301,579円となった。

(2) 一般会計

① 決算の規模

歳入が3,983,814,342円、歳出が3,694,512,763円、差引289,301,579円となり、前年度と比較すると歳入で369,418,149円（10.2%）の増、歳出で421,764,904円（12.9%）の増となった。

② 決算収支

財政運営の状況を判断するための基準とされる当年度実質収支額は、286,270,579円となった。

③ 歳入の状況

1款の分担金及び負担金は、決算額3,081,393,000円で、前年度と比較して33,987,000円（1.1%）の増となっている。

2款の使用料及び手数料は、決算額126,621,841円で、前年度と比較して446,450円（0.4%）の増となっている。主なものは、あだたら聖苑関係使用料31,234,200円、もとみやクリーンセンター関係手数料71,102,435円、あだたら環境共生センター関係手数料22,246,750円などである。

3款の国庫支出金は、決算額2,561,851円で、前年度と比較して110,410円（4.5%）の増となっている。内訳は、廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金1,947,000円、原子力災害避難指示区域活動費交付金614,851円である。

4款の県支出金は、決算額874,000円で、前年度と比較して6,107,608円（87.5%）の減となっている。内訳は、福島県救急業務高度化推進事業補助金874,000円である。

5款の財産収入は、決算額27,689,516円で、前年度と比較して1,131,545円（4.3%）の増となっている。内訳は、財産売払収入として、もとみやクリーンセンターにおける資源物売払収入24,911,578円、不用品売払収入1,294,110円、その他は財産運用収入である。

6 款の寄附金は、前年度に引き続き収入がなかったものである。

7 款の繰入金は、決算額 67,422,230 円で、前年度と比較して 46,422,230 円 (221.1%) の増となった。安達地方地域振興基金から、情報通信ネットワーク機器の更新、署所端末バッテリーの交換業務、指令センター無停電電源装置の修繕、空気充填設備の更新、災害対策車及び化学消防ポンプ自動車の更新に充当したものである。

8 款の繰越金は、決算額 341,648,334 円で、前年度と比較して 103,435,437 円 (43.4%) の増となっている。

9 款の諸収入は、決算額 256,603,570 円で、前年度と比較して 203,392,685 円 (382.2%) の増となっている。主なものとして、容器包装リサイクル協会拠出金 17,643,057 円、高速道路救急業務支弁金 5,120,430 円及び株式会社富士通ゼネラルからの消防指令センター整備工事等における賠償金 215,227,080 円などである。

10 款の組合債は、決算額 79,000,000 円、計 2 件の借り入れを行い、脱炭素化推進事業債 12,400,000 円を消防本部庁舎照明 LED 化工事に、また、緊急防災・減災事業債 66,600,000 円を化学消防ポンプ自動車更新にそれぞれ充当したものである。

なお、調定額に対する収入済額の比率 (収入率) は 100% で、不納欠損額及び収入未済額はなかった。

④ 歳出の状況

1 款の議会費は、決算額が 656,340 円 (執行率 92.8%) で、前年度と比較すると 923 円 (0.2%) の減となっている。

2 款の総務費は、決算額が 157,529,858 円 (執行率 97.9%) で、情報通信ネットワーク機器を更新したことにより、前年度と比較して 44,734,287 円 (39.7%) の増となっている。

3 款の衛生費は、決算額が 1,744,668,868 円 (執行率 96.1%) で、前年度と比較すると 29,358,185 円 (1.7%) の増となっている。

4 款の消防費は、決算額が 1,655,349,295 円 (執行率 99.3%) で、化学消防ポンプ自動車の更新、消防本部庁舎照明の LED 化工事の施工及び安達地方広域行政組合消防施設整備基金を体系的に見直したことによる積み立てにより、前年度と比較して 358,967,626 円 (27.7%) の増となっている。

5 款の公債費は、定期償還に係るものであり、決算額は償還元金 135,074,602 円及び償還利子 1,233,800 円で合わせて 136,308,402 円 (執行率 99.9%) で、旧清掃センター解体及び消防ポンプ自動車、高機能消防指令センター整備、高規格救急車及び消防デジタル無線活動波整備の償還が令和 5 年度で終了したことにより、前年度と比較して 11,294,271 円 (7.7%) の減となっている。

歳出における不用額は 296,171,177 円で、執行率は 92.5% である。

(3) 安達地方地域振興事業特別会計

① 決算の規模

歳入歳出ともに 3,299,486 円で、前年度と比較すると歳入歳出ともに 253,414 円 (8.3%) の増となった。

② 決算収支

当年度実質収支額は 0 円であり、翌年度への繰越はなかった。

③ 歳入の状況

1 款の基金収入は、決算額 3,299,486 円で、前年度と比較して 253,414 円 (8.3%) の増となっている。内訳は、地域振興基金繰替運用益 2,547,889 円、地域振興基金預金利子 751,597 円であり、2 款繰越金及び 3 款諸収入の決算額はいずれも 0 円となっている。

④ 歳出の状況

1 款の基金造成費は、決算額が 695,486 円 (執行率 100.0%) で、前年度と比較して 349,414 円 (101.0%) の増となっている。

2 款の事業費は、決算額が 2,604,000 円 (執行率 100.0%) で、内訳は文化振興支援事業 2,400,000 円、新しい旅実行委員会支援事業 204,000 円である。

歳出全体における不用額は 2,514 円で、執行率は 99.9% である。

(4) 基金

① 安達地方地域振興基金

令和 6 年度末残高は、現金及び一般会計への繰替運用分と合わせて 1,195,344,825 円で、前年度と比較して 695,486 円の増となっている。

② 安達地方広域行政組合財政調整基金

令和 6 年度末残高は 115,359,838 円で、前年度と比較して 57,808 円の増となっている。これは預金利息の積み立てを行ったものである。

③ 安達地方広域行政組合廃棄物処理施設整備基金

令和 6 年度末残高は 316,865,649 円で、前年度と比較して 330,540 円の増となっている。これは預金利息の積み立てを行ったものである。

④ 安達地方広域行政組合消防施設整備基金

令和 6 年度中において、安達地方広域行政組合消防施設整備基金に新たに 301,162,080 円 (内 201,162,080 円は、富士通ゼネラル株式会社からの損害賠償金を充当) を積み立てたものであり、年度末残高も同額となっている。